

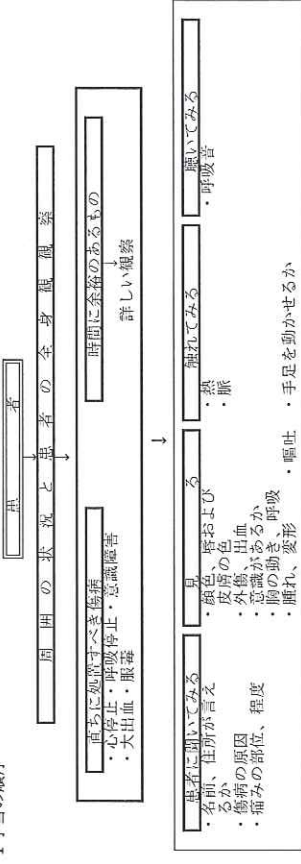
事故発生時の留意事項

- 1 生徒への応急手当をつくす
生命を守ることを第一に考え的確に行う。必要な応急手当をほどこすとともに、医療機関への連絡を迅速に行う。
- 2 家庭への連絡
保護者への連絡は、以下のことに留意する。また、誠意を最大限に尽くす。
(1)事故の状況 (2)傷病の程度 (3)搬送先病院 (4)必要に応じて保険証持参の指示
- 3 関係機関への連絡
校長、大会本部、教育委員会など必要な関係諸機関への連絡を行う。
- 4 他の生徒の指導
現場に居合わせた生徒が動揺しないよう適切な指導をし、場合によっては事故発生時の状況等を聴取し、記録しておく。
- 5 記録
事故の発生状況とともに事故発生以後の状況をできるだけ正確に記録する。特に時間・発生状況・応急手当の内容など。
- 6 情報の窓口の一本化を図る
- 7 事故発生時の要因を把握するとともに、再発防止に速やかに対応する
- 8 大会開催時における事故発生後の対応

事故発生	平成()年()月()日()曜 場所()	時刻()	()
救命措置	担当者(役員・顧問等)は状況を正確に判断し救命措置を実施するとともに緊急に応援を求める。	時刻の確認()	()
連絡体制	担当者(役員・顧問等)→会場責任者→大会本部及び高体連事務局 ↓ 保護者・学校長 ↓ 関係諸機関 (事故等の状況、傷病の程度、搬送先病院等)	時刻の確認()	()
通報	必要に応じて119番通報 ※救急車の呼びひ方	時刻の確認()	～別紙～
応急手当	救命措置・応急手当は大会役員・関係校顧問など担当者で行う。 医師・養護教諭・専門的知識のある者等が会場に居れば応援を求める。	時刻の確認()	()
病院搬送	関係校顧問・大会役員が同行する。 病院から校長・大会本部等へ随時連絡	時刻の確認()	()
状況把握	関係者・関係生徒から状況を把握(大会責任者を含め複数で確認・記録) (氏名・学校名・性別・発生場所・時刻・発生状況・経過・原因・搬送先病院保護者との連絡状況)	時刻の確認()	()
状況報告	病院→校長・大会本部等へ 搬送した関係者が校長・大会本部等へ報告 (到着時間・傷病名・治療の状況・病院名)	時刻の確認()	()
事故報告	関係者・関係諸機関と連絡をとり関係校校長が行う。	時刻の確認()	()

応急手当の実際

1 手当の順序



- 2 救急車の呼び方
(1)119番通報
(2)落ち着いた場所を伝える。(町名、番地、目標と道順をわかりやすく話すを伝える。) (3)けがや病気の程度を伝える。(4)どのような処置をしておくとよいか聞く。
(5)救急車が到着しただけで、患者の容体の変化、手当の内容などについて引継ぎをする。
(6)意識障害の患者に対する手当

